

令和4年度 第3回花見川区支え合いのまち推進協議会議事要旨

日 時 令和5年3月10日(金) 午後3時～午後4時30分
場 所 花見川保健福祉センター3階大会議室

出席委員数	19人
欠席委員数	6人
オブザーバー	1人
傍聴人	0人
事務局	11人

【1】次第

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 区長挨拶
- 4 会議の公開について
- 5 議題
第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和4年度）について
- 6 報告事項
推進協だより（第24号）について
- 7 閉会

【2】議事要旨

委員定数25名のうち、6名の欠席を確認し開会した。

原田委員長、折原区長の挨拶後に新委員である「あんしんケアセンター花見川」の早川委員、「花見川区民生委員・児童委員協議会」の玉山委員を紹介し、続いてオブザーバーとして「あんしんケアセンターこてはし台」の藤江氏の紹介を行った。なお、現在「あんしんケアセンター」について委員1名としているが、令和5年度よりオブザーバーを廃止し、委員2名として参加していただく旨を説明した。

事務局より、会議の公開について説明があり、傍聴人の入室、会議録の作成、ホームページ及び推進協だより等への掲載のため、写真撮影、録音を行うことについて、また自治会等を通じ地域住民や公共の場に公開させていただく旨、了承を得た。（今回傍聴人0名。）

議題

・第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和4年度）中間報告について

議題の進行は金子副委員長により行われた。

社会福祉協議会各地区部会（①検見川地区部会から②花園、③朝日ヶ丘、④犢橋、⑤こてはし台中学校区、⑥幕張・武石、⑦花見川、⑧花見川第2、⑨こてはし台、⑩天戸中学校区、⑪さつきが丘・宮野木台、⑫幕張本郷中学校区、⑬畑）の順で、資料1に基づき報告。

なお、以下の地区部会 ⑥幕張・武石、⑫幕張本郷中学校区 は欠席のため事務局である千葉市社会福祉協議会花見川区事務所（猪野）から説明。

その後、あんしんケアセンター花見川 早川委員より、地域と連携した取組事例の報告が行われた。

報告事項

・推進協だより（第24号）について

報告事項以降の進行は、原田委員長により行われた。

千葉市社会福祉協議会花見川区事務所（猪野）から「資料2 推進協だより（第24号）」について説明があった。

「資料2の推進協だより（第24号）」は、1面が「第5期花見川区支え合いのまち推進計画」についての紹介、2面・3面・4面上段については、「令和4年度 第1回・第2回花見川区支え合いのまち推進協議会」の模様、犢橋地区部会の「フードパントリー」、花園地区部会「グラウンドゴルフと公園清

掃」、さつきが丘・宮野木台地区部会の「あいさつ運動」、花見川区地区部会（鷹の台自治会）の「健康寿命延伸プロジェクト」の活動状況の紹介、4面下段は、花見川区健康課で実施している「～フレイルを予防して健康長寿～」を掲載している。発行は、令和5年3月15日を予定している。

<質疑応答>

金子副委員長 議題について、何か質問はありますか。

原田委員長 検見川地区部会エリアであるが、令和4年度はコロナの影響でほとんど活動ができなかったようだが、仕組みや組織を作るといようなことは、コロナ禍でもできたのではないかと思うが、いかがか。

鈴木委員 地域全体が活動を自粛している状況の中で、地区部会だけ動くという訳にはいかなかった。決してさぼっていた訳ではない。

原田委員長 報告事項について、何か質問はありますか。

(特になし)

原田委員長 本日の議題は以上であるが、他に何かあるか。

齋藤委員 次年度から、会食での「ふれあい食事サービス」の再開を予定している。他の地区のwith コロナのよい手法があれば、ご教示いただきたい。

長島委員 花見川第2地区部会では、年2回会食形式の「ふれあい食事サービス」を実施していたが、コロナ禍でできないため、年1回、4箇所の集会所にて弁当を配布する取組を行っている。

原田委員長 最近の傾向をみると、コロナの感染が収まってきていることもあり、老人会の総会等をもみても終了後に食事会などを行っているところも増えているようだが、どうなのか。

齋藤委員 令和5年3月13日以降の主な感染対策について、千葉県から方針が示されており、「ふれあい食事サービス」も、これに準じた形で実施しようと思うが、それでよいものか。

折原区長 今の通知は5月7日で廃止となり、それ以降は規制がなくなる。ただ、5月7日までは、そのルールが適用される。換気のよい、ある程度、人と人との距離がとれる会場で、感染対策をとり行うということになると思う。

橋立委員 以前、担い手不足の問題が話題になったが、先月の朝日新聞に地域コミュニティ用 SNS アプリ「PIAZZA」の記事が掲載されていた。東京中心に神奈川県、埼玉県等にサービス範囲を拡大していて、20代後半～40代の方々を中心に広く普及しているようである。千葉県では、船橋、津田沼、柏、流山、八千代ではサービスが開始されているということだが、千葉市内はまだサービスエリア外とのことである。

ここでは、イベントの紹介や地域活動のスタッフ募集もできるようなので、それをうまく利用すると、若い世代を地域活動へ誘導できるのではないかと期待している。パンフレットを取り寄せ、本日持って来たので、興味がある方はお持ち帰りいただきたい。

この「PIAZZA」を普及させるには、地域側からの強い要望が必要とのことなので、行政からの後押しをお願いしたい。

折原区長 地域コミュニティ用 SNS には、「PIAZZA」と「マチマチ」の2つがある。千葉市でも、以前、ご近所 SNS 「マチマチ」というサービスが提供されていた。しかし、こちらは、事業成立が困難となり、開始から4年余りの昨年5月で事業終了となっている。

自分自身も「PIAZZA」というアプリを入れてみたが、無料のサービスであるため、宣伝広告が多くなっているという印象を受けた。

千葉市の現状として、地域コミュニティ用 SNS については、一旦終了をしたということになる。

原田委員長

我々が今、一番困っているのは、立案・計画する人がいないということである。立案・計画をする人が高齢化しており、コロナのブランクもある。立案・計画して業者に依頼するなり何なりする人がいないということである。

折原区長

地域により異なるが、地域には、様々な地域資源が存在する。柏井であれば、柏井高校がありボランティア部もある。花見川団地には、商店街があり、現在、千葉商大や千葉工大の学生が入っているし、中学校等もそうである。それらから、新しい方たちを取り込んでいくということも可能かとは思ふ。

原田委員長

そういう団体を取り組むための計画する人材もいないというのが、最大の問題である。決まったものを、団体や業者に依頼するということはできても、立案・計画からできる人材がない。

折原区長

後押しさせていただく。

原田委員長

他に何かあるか。

事務局（猪野）

先程の「ふれあい食事サービス」の件であるが、現時点では、地区部会活動再開に向けてのガイドラインが適用されているので、ガイドラインに従って運用いただきたい。「5類」への移行のタイミングで何かしらの通知が出されると思うが、また改めてお知らせさせていただく。

蜂巢委員

ただ、5月はもうすぐその話で、今年度の計画は5月の総会であげなければならぬ。我々としては、基本的に5月からは規制がなくなるということを前提に、若い方の意見も取り入れながら、新年度の明るい計画を立て、総会にかけるというつもりでいる。

状況が変わってきたので、我々も下を向いてはいけぬ。気分を切り替えていこうということだと思ふ。

(閉会)

原田委員長が閉会挨拶し、午後4時30分、花見川区支え合いのまち推進協議会を閉会した。